

## 遺骨が語る歴史の真実—過去を変えることで未来に行ける

東京朝鮮人強制連行真相調査団 代表 西澤 清

- 一 京都・舞鶴港で沈没した浮島丸の遺骨がなぜ東京祐天寺にあるのか
- 一 東京大空襲の朝鮮人犠牲者がなぜ「東京大空襲の記録・全五巻」(1974・3)にないのか
- 一 「歴史認識」の狭間を埋めること
  - 1 日韓の歴史認識の統一の作業 (言葉の持つ概念の認識の重要さ)
    - 1945年8月15日は、①終戦の日 ②敗戦の日 ③光復節 ④解放の日  
⑤「       」(あなたなら何を入れるか)
    - 日韓併合は1910年? 1905年・・朝鮮の植民地支配の出発点  
1800年代の動きから乙巳条約(第2次日韓協約1905(韓国 of 外交権を奪い、統監府が設置されることになり保護国化を実現)で出来上がる。第3次(1907年)を経て「韓国併合に関する条約」(1910)に
    - 強制連行とは、(以下のように、「罰則を伴う法令によって国家権力が行う行為であるから『強制』に決まっている」国家総動員令(1938年)は、戦時(事変を含む)に対し国防目的達成のため、人的及び物的資源を統制運用する。必要ある時は帝国臣民を徴用して総動員業務に従事させることができる(第4条)。応じない者、業務に従事しない者は、2年以下の懲役又は三千元以下の罰金に処す(第34条)
    - 国民徴用令(1939年)、総動員令に基づき、徴用せらるべき者(帝国臣民)、厚生大臣から地方長官に徴用命令、直ちに徴用命令書を発し、徴用せらるべき者に交付(第7条)、出頭を命じることができる。(第10条)第21、22条で軍人、徴用者以外の軍属など徴用しない者を限定(ほとんどすべての「民間人」に網がかかる)。
    - 広辞苑「徴用とは、国家権力により国民を強制的に動員し、一定の業務に従事させること」「強制連行とは、強制的に連れて行くこと」「強制的とは、威力・権力で人の自由意思をおさえつけ、無理にさせること。無理じい」
- 一 東京大空襲朝鮮人犠牲者追悼会(2004年～)で見えてきたこと。私たちは何故遺骨にこだわるか。
  - 犠牲者の追悼は、「過去の事実」を明らかにする作業である。
  - 歴史認識を深めるために「不可逆的」は、ありえないし、過去(現在)を「可逆的」に知ることが歴史を作ることになる。
  - 人は、死によって「消滅」するが、「想い」は遺族・友人など個人を知る人の中に活きる。それをつなぐものが遺骨である。

以上



2009年、ソウルから遺族が来日しNHKで放送されました！



### 東京大空襲 74 周年朝鮮人犠牲者追悼会 賛同人のお願い

追悼会の目的と意義を深くご賢察下さり賛同人（一口 3000 円）になって下さる様、  
お願い申し上げます。（二口以上可）

3/10 までにカンパを頂いた方は、当日の資料集にご芳名（団体名）を掲載します。

東京大空襲朝鮮人犠牲者を追悼する会  
代表；西澤 清

返信用 FAX 番号 03-6410-6151  
返信用 E メールアドレス [toron3824@hotmail.com](mailto:toron3824@hotmail.com)

ご芳名（フリガナ）

団体名及び肩書き

住所及び電話番号

FAX 及び E メール

以下、○で囲ってください。

—資料集にお名前・団体名を掲載 する しない

郵便振替口座：00160-4-371480 加入者名：東京朝鮮人強制連行真相調査団